

泉区洪水ハザードマップ

洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

境川水系河川：境川、宇田川、和泉川、阿久和川、相沢川

この洪水ハザードマップは、境川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。



洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

こちらの面の洪水浸水想定区域^{※1}の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(24時間で632mm)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。

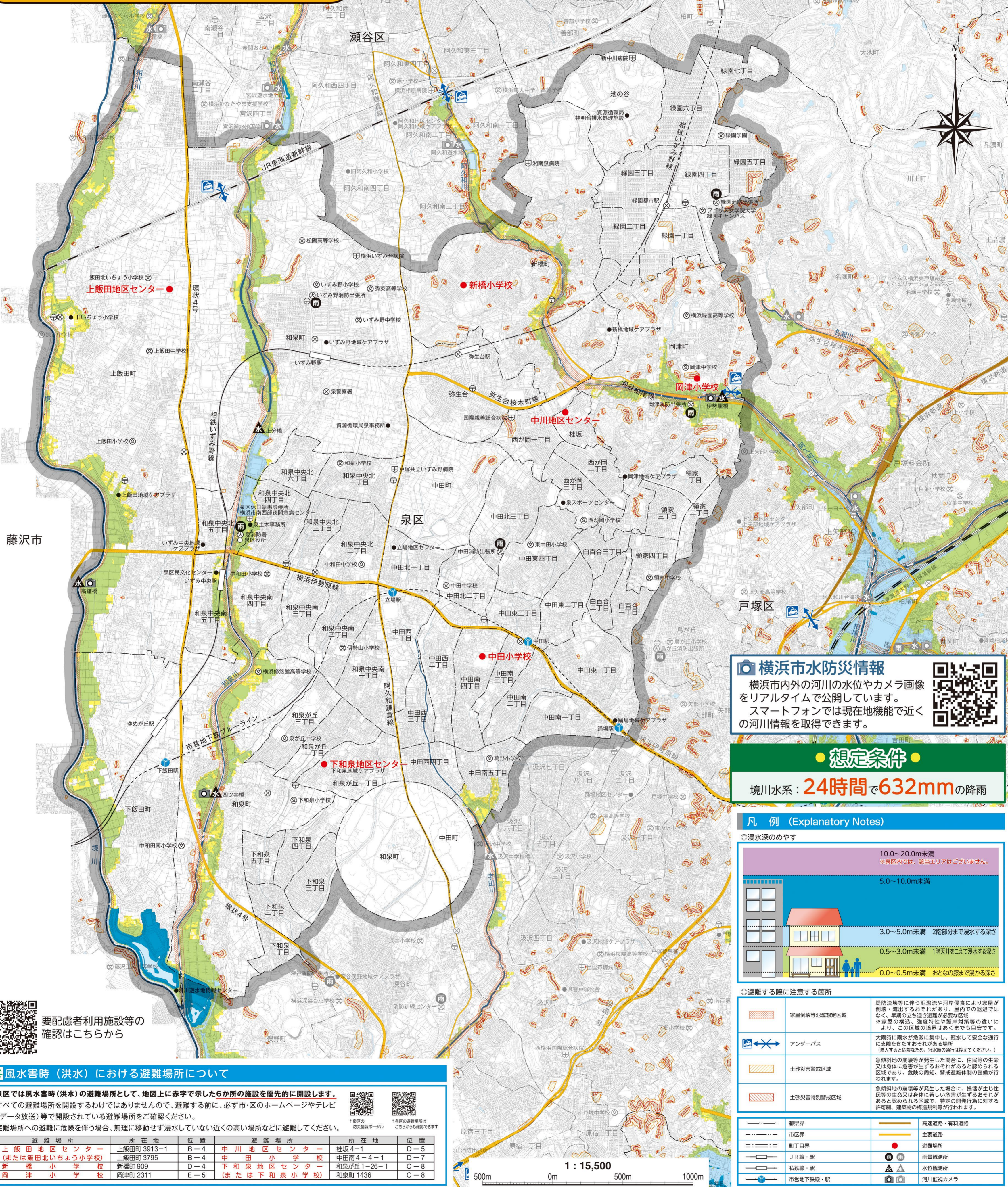
【参考】横浜地方気象台では、平成26年10月5日に24時間で約307mmの降雨を観測しています。^{※2}

なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していません。したがって着色されていない区域でも浸水が発生する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

- ※1 神奈川県ホームページ
(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/cnt/f3747/p1039490.html>)
- ※2 横浜地方気象台ホームページ
(<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/>)



出典データ	
背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第9024号 横浜市建築局都市計画基本図データ(地図レベル2500)により作成
河川	横浜市下水道河川局 河川図
浸水想定区域	境川水系浸水想定区域図
土砂災害警戒区域	横浜市建築局 土砂災害警戒区域(令和7年7月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局 土砂災害特別警戒区域(令和7年7月現在)

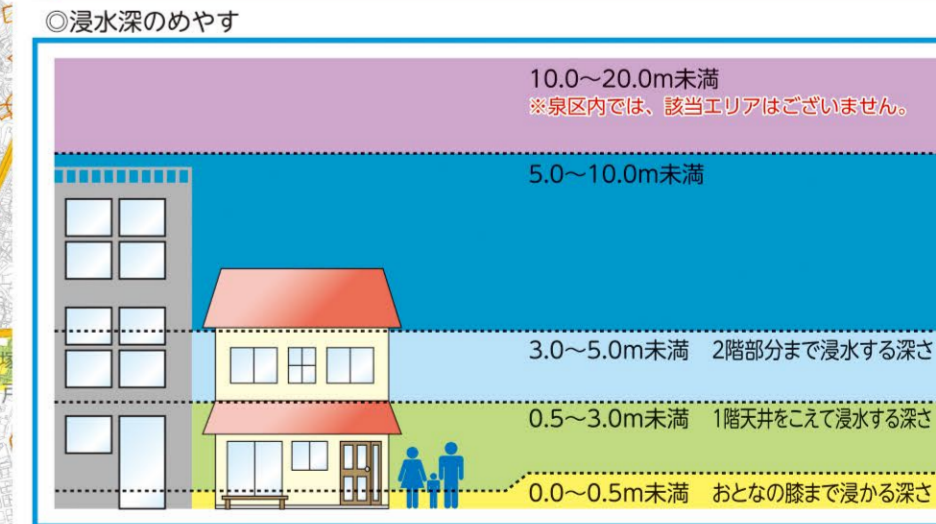


横浜市水防災情報

横浜市内外の河川の水位やカメラ画像をリアルタイムで公開しています。スマートフォンでは現在地機能で近くの河川情報を取得できます。

●想定条件●
境川水系：24時間で632mmの降雨

凡例 (Explanatory Notes)



○避難する際に注意する箇所

家屋倒壊等氾濫想定区域	堤防決壊等に伴う氾濫流や河原侵食により家屋が倒壊・流出するおそれがあり、屋内での避難ではなく、早期の立ち退き避難が必要となる区域であり、この区域の境界はあくまでも目安です。
アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所(進入すると危険なため、冠水時は通行は控えてください。)
土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがある区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。
土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがある区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

要配慮者利用施設等の確認はこちらから

風水害時(洪水)における避難場所について

◆泉区では風水害時(洪水)の避難場所として、地図上に赤字で示した6か所の施設を優先的に開設します。すべての避難場所を開設するわけではありませんので、避難する前に、必ず市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。

◆避難場所への避難に危険を伴う場合、無理に移動せず浸水していない近くの高い場所などに避難してください。

避難場所	所在地	位置	避難場所	所在地	位置
上飯田地区センター (または飯田北いちよう小学校)	上飯田町 3913-1	B-4	中川地区センター	桂坂 4-1	D-5
新橋小学校	上飯田町 3795	B-4	中田小学校	中田南 4-4-1	D-7
岡津小学校	新橋町 909	D-4	下和泉地区センター (または下和泉小学校)	和泉が丘 1-26-1	C-8
				和泉町 1436	C-8

